

「鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会」第7回会議の結果について

淀江産業廃棄物処理施設計画審査室

「鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会」第7回会議を開催したので、結果についてお知らせします。

1 日時

令和3年12月25日（土）午後1時から午後3時30分まで

2 場所 さなめホール（米子市淀江文化センター：米子市淀江町西原） イベントホール

（※）イベントホールでの傍聴のほか、さなめホール大ホール及び県庁講堂においてモニターによる傍聴を実施

3 委員 しまだじゅん 嶋田 純 すぎたふみ 熊本大学名誉教授【会長】、いとうひろこ 杉田 文 いとうひろこ 千葉商科大学教授、伊藤浩子一般財団法人 かつみたけし 地域地盤環境研究所主任研究員、こだまよしのり 勝見 武 こだまよしのり 京都大学大学院教授、小玉 芳 敬 鳥取大学教授

4 結果（主な内容）

（1）水理地質構造の見直し

- ・シミュレーションの現況再現解析（※）を進める過程で、再度、現地の調査や既存のボーリングコアなどを確認し、主に海岸部及び山側部（本宮の泉周辺や精進川以南等）における地質構造の見直しを行った。

※ 解析モデルによる試行計算を繰り返しながら、モデルが算出する計算上の値と、観測データとを比較し再現性を向上させていく作業。

（2）地下水シミュレーションの現況再現解析結果（途中段階）

- ・水理地質構造（地下水の分布を含む地質構造）の見直しや解析モデルの改善の状況を含むシミュレーションの解析内容（途中段階）が適切であることを確認した。
- ・福井水源地の主要な供給源と考えられる第3帯水層は、水理地質総合解析から推測された地下水の流れ（南東→北西）と概ね同じ方向の流れが解析された。

（3）委員からの主な意見

- ・解析モデルの改善方法は適切である。
- ・実測値と計算値は段々と整合してきているので、最終報告に向けて、引き続き観測結果を意識しながら、細かな改善を行ってほしい。

（4）今後のスケジュール

- ・今回の議論を踏まえ、現況再現解析を進め、シミュレーションモデルの妥当性を確認した後、計画地周辺の地下水の流向等を把握する。

（※）第8回調査会（令和4年1月末頃）は、新型コロナウイルスの感染拡大等を考慮して延期することし、2月以降に開催する方向で調整している。（R4.1.21 現在）

（5）傍聴

- ・傍聴者は22名

（西部会場：イベントホール8名、大ホール11名、東部会場：県庁講堂3名）。